



前川東小だより

～ 地域とともに ～

川口市立前川東小学校
令和8年2月号

学校教育目標
・よく考える子
・心豊かな子
・健康な子

新鮮な気持ち、行動を

校長 小野寺 啓太

3学期が始まり、あっという間にひと月が過ぎ、間もなく「節分」「立春」を迎えます。暦の上ではもう春になりますが、まだまだ寒い日が続きます。感染症により欠席をする児童が増えてきました。学校では、手洗い・うがい・換気等を励行し、体調管理に気を付けて過ごしていけるよう指導してまいります。ご家庭でも、引き続き声を掛けていただけたら幸いです。

さて、2月3日は伝統行事の一つ「節分」です。本来、節分は、季節の節目である「立春」「立夏」「立秋」「立冬」の前日のことを言い、年に4回あります。立春の頃が一年の始まりであるとされていたので、2月の節分は特に重んじられてきました。そして、昔から、季節の分かれ目には邪気が入りやすいと考えられており、様々な邪気払い行事が行われてきました。「豆まき」も、新年を迎えるための邪気払い行事の一つです。

節分の起源は、古代中国の「追儺（ついな）」という儀式にさかのぼるようです。追儺は、悪霊を追い払うための行事で、日本に伝わる際に、豆を使った風習が加わりました。豆は、昔から「魔（ま）を滅（め）する」という意味があり、邪気を払うためにまかれるようになったと言われていました。

邪気（邪鬼）は、人の心から生まれるという考え方もあります。「自分の中にある鬼」を追い払い、感謝の気持ちをもつ、自分や友達、家族を大切にす、夢や目標に向かって頑張る、よいと思った行動を自ら率先して行う等「自分を高める福」を呼び込んでほしいと思います。1月30日（金）、本校で非行防止教室を行い、講師として香川県教育委員会スクールカウンセラー 中野 レイ子 様を招聘しました。高学年向けの講話の中で、「善い行いをすると気持ちも善い方向に変わる」というお話がありました。「鬼は外～！」で追い出し、新鮮な気持ち、行動で春を迎えたいものです。

今年度も残り2か月、たくさんの福を呼び込みながら1年間のまとめをし、子供たちが自信をもって、一日一日を大切に過ごしながら進級・進学への礎を築いてほしいと思います。また、今月末～来月初めには今年度最後の授業参観・懇談会があります。お子様の様子をご覧いただき、1年間の成長した姿を感じていただければと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。